

議会だより

にしあいづ

No.129

2015.4.27

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



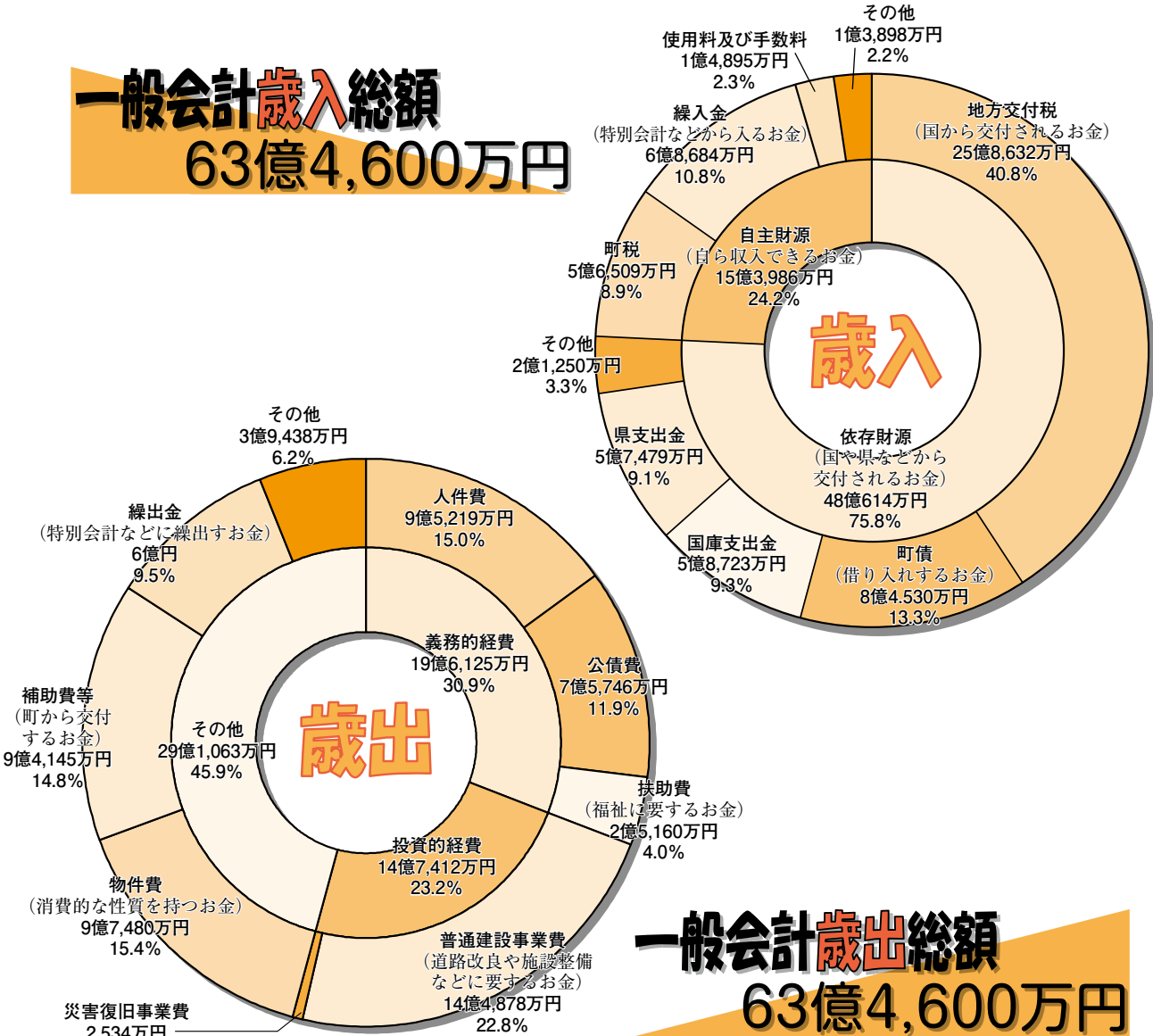
- 3月議会定例会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～6
 - 昨年に引き続き大型予算で元気な町づくりを・・・・・・・・ 2～4
 - 町長の責任を明確に・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - 特別委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ここが聞きたい！一般質問 12人が登壇・・・・・・・・ 7～13
- 第1回、第2回臨時会報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 交通安全協会野沢分会長 齋藤良一さんにインタビュー・・・・ 14

新しい校舎に笑顔で入学（西会津小学校入学式）

で元気な町づくりを

3 月
議 会
定 例 会
3/6~20

一般会計歳入総額
63億4,600万円



一般会計歳出総額
63億4,600万円

町から提出された議案は、平成27年度当初予算案をはじめ、条例制定及び一部改正案や副町長選任の同意など45件で、平成27年度一般会計予算及び辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定については採決により、その他の議案は全員賛成で原案のとおり可決しました。また議会案として、町長の給与の特例に関する条例案と東京電力福島第一原子力発電所の汚染水流出に断固抗議する決議案が提出され、条例案は採決により、決議案は全員賛成で原案のとおり可決されました。

一般質問では、議員12人が登壇し、町の考えや対応を問いました。

会 計 名			平成27年度予算額	平成26年度予算額	増 減 率
一 般 会 計			63億4,600万円	63億5,500万円	△0.1%
特 別 会 計	工 業 団 地 造 成 事 業		8,868万円	8,868万円	0.0%
	商 業 団 地 造 成 事 業		1,348万円	1,300万円	3.6%
	住 宅 団 地 造 成 事 業		616万円	1,227万円	△49.8%
	下 水 道 施 設 事 業		1 億8,601万円	2億761万円	△10.4%
	農 業 集 落 排 水 処 理 事 業		1 億1,579万円	1億1,097万円	4.3%
	個 別 排 水 処 理 事 業		6,417万円	5,453万円	17.7%
	後 期 高 齢 者 医 療		1億148万円	1億202万円	△0.5%
	国民健康保険	保 険 関 係	10億2,509万円	9億5,211万円	7.7%
		診 療 所 関 係	2億8,247万円	2億7,191万円	3.9%
	計	介 護 保 険		11億3,085万円	11億433万円
簡 易 水 道 等 事 業		7,893万円	8,305万円	△4.9%	
水道事業会計		収 益 的 収 支	1 億5,779万円	1億5,997万円	△1.4%
		資 本 的 収 支	8,919万円	9,966万円	△10.5%
合 計			96億8,609万円	96億1,511万円	0.7%

昨年に引き続き大型予算

議会が注目！新年度事業

役場庁舎移転整備事業 2億円

現在の役場本庁舎は、築50年が経過し老朽化が著しいことなどから、3月末をもって空校舎となった西会津小学校施設を有効活用するため、役場本庁舎機能を移転します。

平成26年度には役場庁舎に改修するための実施設計業務を発注し、平成27年度から本格的に改修作業を行っていくこととしています。



使いやすい役場庁舎となるのか

さゆり公園施設長寿命化対策事業 5,102万円

町民や町外からの利用者に憩いの場と親しまれているさゆり公園の野球場や屋外プールなどの主要な施設は、設置から30年以上経過し老朽化が進んでいることから、国土交通省の補助事業である公園施設長寿命化事業を活用して計画的・総合的な改修・修繕を実施し、各施設の適切な運営と利用者の安全を確保します。



みんなの憩いの場「さゆり公園」

都市再生整備計画事業 5,195万円

国土交通省の交付金を受け、平成25年度から4年間の期間でスタートした野沢地区都市再生整備計画事業は、平成27年度に町道上原中央線新設事業や野沢駅通り公園整備事業の設計業務、原町ポケットパーク整備事業の用地取得及び設計業務、町内観光サイン整備事業などを進めます。



野沢町内初となる
公園建設予定地

認定こども園整備事業 1億2,657万円

施設の老朽化や保育ニーズの多様化などの課題解決のため、西会津小学校隣接地に子育て支援の拠点を兼ね備えた保育施設の整備を進めます。

平成29年4月開園に向け、平成27年度は実施設計業務や用地購入・立木等補償、用地造成工事などを実施します。



早期完成が望まれる
認定こども園建設予定地

予算に関する主な質疑

青木照夫議員

新年度予算に役場庁舎移転経費が計上されているが、今後の費用の総額と新庁舎前の道路拡幅に要する概算経費は。

総務課長

移転費用は、正式な積算をしていないが、改修のほかに備品や防災機器等の移転費用がかかってくる。

建設水道課長

平成27年度に家屋の移転等で1億円、平成28年度に改良舗装で1億円の計2億円である。

清野佐一議員

多額の財政調整基金の運用のあり方について、どう考えているか。

町長

予算編成では財政状況の組み立てが基本であり、一般財源の投入方法を具体的に進めて、将来的に返済が必要ときや長期財政計画を立てるときにある程度の基金が必要と考えている。

小柴敬議員

総合情報政策費のケ

ブルテレビ管理業務委託

料とインターネット管理業務委託料は指定管理者の西会津ケーブルネットに対する委託料か。

企画情報課長

ケーブルテレビ管理業務委託料7115万1千円、インターネット管理運営業務委託料2214万6千円、この金額が西会津ケーブルネットに指定管理を委託する金額である。

多賀剛議員

町長は就任当時に黒塗り高級車は乗らないとのことであったが、町長車の購入費として650万円計上されている。その金額を算出した内容の説明を。

総務課長

具体的な車種は決まっていないが、2400ccクラスのハイブリット車で検討していきたい。

長谷沼清吉議員

650万円の町長車は高級車ではないか。方針の転換なら町長自ら説明すべきではないか。

町長

実際に5年間経つてみて、安全安心を考えるべきだと考えが変わってきた。当時のことを反省し、町長車にふさわしい車の購入を考えていきたい。

渡部憲議員

機能回復訓練事業の予算総額は。

健康福祉課長

機能回復訓練の事業費は、一般会計で245万円、介護保険特別会計で400万円ほど計上している。

長谷沼清吉議員

小学校の水泳の授業のために、さゆり公園温水プールに水深を浅くする台の購入費用が計上されている。児童の安全面を考えると旧尾野本プールを使ったほうがいいと思うが、その検討について教育総合会議を主宰する町長の考えは。

町長

購入経費の執行は留保し、児童にとってどちらがいいか4月早々に検討し、6月議会で報告する。

討論

伊藤一男議員

私は、原案に賛成の立場から討論をする。

反対者の討論にあった役場庁舎の移転について、廃校となった学校施設やその跡地利用は、町民からの提案・提言でもあり、財政面も考慮した計画となっている。

以上のことから、平成27年度一般会計予算については、議員全員の賛成をいただき、原案のとおり可決したいと考える。

賛成

討論

青木照夫議員

一般会計予算に計上されている庁舎移転経費について、過去に2回一般質問をした。

平成24年度に移転経費の総額や建物の耐用年数を質問したが示されなかった。また、平成26年度に同じような質問をした。その際の答弁で示された経費総額と図面等には納得できたが、分庁舎の建設については説明が不十分であり、納得ができない。町民や一般の方の意見は、3階は会議室や議場であり、町民との交流には適さないとの意見である。

このようなことから、平成27年度一般会計予算については、私は反対である。

反対

平成27年度一般会計予算採決結果

小柴	三留	長谷川	渡部	伊藤	猪俣	鈴木	多賀	青木	荒海	清野	五十嵐	武藤	長谷沼
○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○

○は賛成、×は反対、退は退席。武藤議員は議長のため採決に加わりません。

町長の責任を明確に

議員提出の町長給与の特例条例案を可決

昨年12月に発生した職員の不祥事に対する懲戒処分に関し、町長から謝罪はあったものの、自らの責任については、公務外でのことであり、町長の権限や責任の範ちゅうが及ぶものではないとの答弁であったことから、その責任を明確にするため、町長の給与月額を6カ月間10パーセント減額する特例条例案が、長谷沼清吉議員ほか2人の議員から提出され、審議採決の結果、原案のとおり可決しました。

【質疑】

渡部憲議員

責任のとり方は、減給でなければならぬのか。

長谷沼清吉議員

自ら責任を明らかにするというのが原則だが、その意思はないので、一度襟を正し、真剣に町政執行をしていただきたい。

討 論

清野佐一議員

協働の町づくりをする上で大切なことは、町民・議会・行政が信頼関係を持ち、公平・公正であるべきと考える。

家庭においても家族の不祥事は、一家の主が責任をとる。行政においても職員との信頼関係を保ってこそ、よりよい行政が行われると思う。

本来、町長が自ら毅然とした態度で、先んじて責任をとるべきではなかったか。このような事態に及んだことは、大変残念である。

賛成

討 論

猪俣常三議員

町長の減給の問題であるが、職員の場合は懲戒委員会により、懲戒に関する規則や条例、県などの事例を踏まえて決定されたものであり、町長の減給などの処分は町長が決めるものである。

近隣の自治体で発生した同じような不祥事は管理職が起こしたもので、本町の場合は一般職員が勤務時間から外れて起こしたものであるので、町長の減給に触れるものではない。

反対

町長の給与の特例に関する条例採決結果

小柴	三留	長谷川	渡部	伊藤	猪俣	鈴木	多賀	青木	荒海	清野	五十嵐	武藤	長谷沼
○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	—	○

○は賛成、×は反対、退は退席。武藤議員は議長のため採決に加わっていません。

副町長人事案件に同意

新副町長に伊藤要一郎さん



法政大学法学部卒。昭和58年町職員に採用。企画調整課長、まちづくり政策室長、参事兼総務税政課長を歴任、平成22年4月から参事兼総務課長。56歳。野沢・堀越出身。

町議会は断固抗議します！

清野佐議員ほか4人から提出の決議案を全員賛成で可決

東京電力(株)は、2月22日に東京電力福島第一原子力発電所において、構内排水路から高濃度放射性物質を含む汚染水が港湾へ流出していたこと、また、24日には2号機原子炉建屋の屋上に溜まった高濃度放射性物質を含む雨水が港湾外へ流出していたことを公表した。さらに、24日に公表した汚染水の流出は、昨年4月には把握していたにもかかわらず、10カ月間も明らかにしてこなかった。県では、汚染土壌を安定的に保管しなければ復興再生は進まないとの考えから、苦渋の決断で中間貯蔵施設の建設、廃棄物搬入受け入れを表明した。

そのような中で、汚染水流出の問題は、風評被害に苦しむ県民の心を踏みにじる行為であり、誠に遺憾である。

よって、本町議会は東京電力(株)に対し、断固抗議するとともに、原因究明及び再発防止策を徹底し、県民に対し迅速かつ十分な情報提供・公開を行うよう強く求めるものである。(決議一部抜粋)

可決した議案

【条例の制定】

- 教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例
- 町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
- 地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 地域の元気臨時交付金事業基金条例を廃止する条例。

【条例の一部改正】

- 附属機関の設置に関する条例
- 行政手続条例
- 町民バス運行条例
- デマンドバス運行条例
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

■介護保険条例

- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

■指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービ

- 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービ
- 道路占用料徴収条例
- 町立小学校及び中学校

■体育施設条例

- 職員の給与に関する条例

【補正予算】

- 平成26年度一般会計ほか5特別会計及び水道事業会計補正予算

【各種計画】

- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更に係る公共的施設の総合整備計画の策定
- 《賛成12・反対1（長谷

沼）

- 過疎地域自立促進計画の変更

- 第6期介護保険事業計画・第7期高齢者福祉計画の策定

【その他】

- 町道の認定（2路線）
- 地域連携販売力強化施設の管理に係る指定管理者の指定
- 西会津小学校新校舎空調設備設置工事請負契約の締結

請願陳情

3月議会定例会には、町内の1団体から陳情1件が提出され、経済常任委員会で審議しました。

提出された陳情（敬称略）

- 充実した飯豊山・鏡山登山基地とする祓川駐車場隣接場所への山荘移転
- 新設陳情書
- 陳情者 西会津山の会会長 仲川忠
- 【審議結果】継続審査（現地調査等が必要のため）

特別委員会報告

議会活性化特別委員会

- 議会活性化特別委員会では、平成25年3月議会での設置後、議会活性化に関わる事項について19回の委員会を開催し、調査検討を重ねてきました。
- 通年会期制
- 次期改選後以降に再検討することとしました。
- 政務活動費
- 次期改選後以降に再検討することとしました。

- 本会議における公聴会・参考人制度の導入
- 当面導入しないこととしました。
- 費用弁償
- 現行どおり支給することとしました。

- 議員報酬
- 現行どおりの報酬額を維持することとしました。
- 議員定数
- 現行の議員定数を維持することとしました。

- 議案等議会資料の公開と傍聴者等への配布
- 傍聴者には当日の議事日程を配布することとし

ました。

- 災害時における議会行動マニュアル等の策定
- 災害発生時の対応要領及び初動マニュアルを策定しました。

- 子ども議会の開催
- 次期改選後に再検討することとしました。なお、子ども議会の開催は、平成27年12月定例会後に実施されるよう要望することとしました。

- その他、議会改革及び議会活性化に関する事項
- 次期改選後も議会改革等に関する特別委員会を設置し、引き続き調査検討をするべきと確認しました。

保育施設運営に係る調査特別委員会

- 保育施設運営に係る調査特別委員会は、平成26年の3月議会での設置後、本町に最適な保育施設の運営と子育て支援環境について11回の委員会を開催し調査検討を重ねてき

ました。

- 保育施設の設置場所等
- 町役場跡地と新西会津小学校隣接地を比較検討し、役場跡地には、まちなか活性化のための（仮称）町民文化センターの整備の実現を条件に、保育施設の設置場所は新西会津小学校隣接地が適当であると決定しました。

- 本町の実情に合った保育施設の整備のあり方と方向性
- 特別委員会で取りまとめ、町に要望した事項は次のとおりです。
- ・雪国仕様の施設整備
- ・木のぬくもりが感じられる施設
- ・給食の自園内調理
- ・障がい児保育にも配慮したスペースの確保や施設整備
- ・雨や雪でも傘をささずに駐車場から登園できるアーケードの設置の検討
- ・病後児保育の導入検討
- ・保育所と小学校の連携
- ・については、全国的にもモデルとなるような保育施設及び運営形態とすること

町政のここが聞きたい 議員は問う 12人が登壇

こんな質問をしました（質問順）

- 猪俣常三議員（9ページ）
 - ①総合計画基本計画（後期）と平成27年度予算編成について
 - ②学校教育について
- 伊藤一男議員（13ページ）
 - ①町内企業への支援と企業誘致について
 - ②防犯灯のLED化について
 - ③教育行政について
- 小柴敬議員（11ページ）
 - ①地域の安全・安心に対する今後の町の対応について
 - ②コミュニティ育成事業について
 - ③木質バイオマス調査結果を問う
- 渡部憲議員（7ページ）
 - ①野沢町内の除雪対策について
 - ②旧尾野小講堂の利活用について
 - ③政府が打ち出した経済対策に対する町の対応は
- 長谷川義雄議員（8ページ）
 - ①教育行政について
 - ②地方創生について
 - ③西会津町総合計画基本計画後期
- 多賀剛議員（9ページ）
 - ①副町長人事について
 - ②職員の定数計画について
- ③地方創生のへの取り組みについて
- 鈴木満子議員（11ページ）
 - ①特別支援教育支援員制度について
 - ②子ども子育て新制度の保育について
 - ③介護保険制度について
- 青木照夫議員（12ページ）
 - ①豊かで魅力あるまちづくりについて
 - ②定住促進について
- 荒海清隆議員（10ページ）
 - ①「まち・ひと・しごと総合戦略」について
 - ②保育施設整備事業について
- 五十嵐忠比古議員（7ページ）
 - ①町道の除雪対応について
 - ②不登校児童・生徒の対応について
- 清野佐一議員（12ページ）
 - ①農業振興について
 - ②観光の振興について
 - ③町政への取り組みについて
- 長谷沼清吉議員（8ページ）
 - ①職員の懲戒処分について
 - ②国による教育委員会制度改革について
 - ③西会津町地域密着型サービス事業者等指導要綱について

問 除雪作業中の事故などはなかったか

答 除雪車と車両の接触事故が1件あった

五十嵐 忠比古 議員

問 今年度は例年になり豪雪となり、生活道路の除雪は通勤、通学など生活する上で重要である。今年度に直営除雪から業者委託になった路線は何か。オペレーターの安全教育や若手従事者の育成はどのようにされているか。また、作業中の事故やトラブルはあったか。

建設水道課長

直営除雪から業者委託となった路線は9路線で、町道野沢柴崎線の整備が進み、交通量が増加し除雪機械の大型化を図る必要があったためである。

安全教育は、除雪作業時の注意事項についての説明会や機械メーカーを講師に除雪作業講習会を開催している。直営除雪では、若いオペレーターの採用に積極的に取り組み、熟練したオペレーターと同乗して、除雪作



安全な除雪作業を

業習得に取り組んでいる。除雪作業中の事故は、業者委託路線で車両と除雪車の接触事故が1件あった。

現状とその対応は。教育委員会は学校に対して指導しているか。

教育課長

問 近年、児童生徒が巻き込まれる事件・事故が多発している。また、児童生徒の不登校の増加が社会問題になっている。町内小中学生の不登校の

欠席日数が30日を超えている児童生徒は、中学校に6人いる。学校、教育委員会、家庭、児童相談所、町福祉関係部署が緊密に連携しながら、解決に向けて対応している。

問 職員の懲戒処分に関し町長の責任は

答 誠に申し訳なく責任を痛感している

長谷沼 清 吉 議員

問 町始まって、初の職員の懲戒処分がなされた。
町長はどのような責任を感じたか。どのような責任をとったか。

町長

職員の個人的行動や私生活の全てに至るまで、町長の権限や責任の範ちゅうが及ぶものではな



町長と教育委員会 両者の立場は対等に

いと考えているが、誠に申し訳なく責任を痛感しており、町民の皆様に対し、心から深くお詫び申し上げます。今後はさらに綱紀粛正の徹底を図り、再発防止に努めるとともに、町長、職員が一丸となり誠心誠意、職務を遂行していく。

問 町長は「首長も直接教育現場に携わる」と

発言をしたが、その真意は。

町長

教育現場に赴き直接指示することではなく、教育大綱を自ら策定し方針を打ち出すことや総合教育会議を開催し、教育委員会と課題等について話し合いをすることを「携わる」と表現したものである。

問

地域住民生活等緊急支援交付金の施策は

答

プレミアム付商品券を発行する

長谷川 義 雄 議員

問 町は、地方版総合戦略をいつまで策定し、いつから実施するのか。
また、地域住民生活等緊急支援の交付金を町はどのような施策とするのか。

町長
平成27年度中に計画を

策定し、西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を設置の上、町民参加のもとに進める。交付金は地方消費喚起・生

活支援型として、本町には1937万3千円の配分があり、プレミアム付商品券発行事業に全額を補助する。

問 新年度、西会津小

学校に入学・通学する児童保護者に対し、通学方法の説明はしたか。また、徒歩通学路は安全が確保されているか。

教育課長

通学方法の変更は、11月15日の西小フェスティバルの際に保護者に説明し、通学路については2月25日の授業参観日に、経路を記した資料を渡している。今後、教員の指導の下、児童が実際に現地を歩き、危険箇所等をチェックする予定である。



プレミアム付商品券で商店街の活性化を

問 新年度予算編成の方針は

答 みんなの声が響くまちを基本に

問 平成27年度の予算編成にあたり、何を重点施策として取り組もうとしているのか。予算計上されている西会津小学校の校舎を町役場庁舎として整備する取り組みについて、財源となる庁舎整備基金の積立額は。また、役場庁舎は町民の防災拠点となることから、建物を支える地盤や地質はどうなっているか。

町長

平成27年度当初予算の編成は、総合計画後期基本計画に基づき「みんなの声が響くまち」を基本とし、「住んでみたい、行ってみてみたい町へ」をテーマとして、3本の柱を据え、定住人口の拡大を強力に推進するための予算編成を行った。

総務課長

庁舎整備基金は年度末で4億5千万円、新年度で1億5千万円を予算計

猪俣 常三 議員



施設の裏は河川 地盤に心配はないか

上し、合計で6億円となる見込みである。庁舎の地盤や地質は、安定している。

へどのような期待をすることができなのか。

教育長

問 特別の教科「道徳」と記述式評価を導入することによって、生徒

道徳教育は、児童生徒一人ひとりが「よりよく生きる力」を育む源であり、資質・能力が養えるものと期待している。

問 副町長の選任はいつ頃か

答 今定例会に提案する

多賀 剛 議員

問 副町長が不在となつて1年となる。副町長の職は、事務方のトップとして職員を指揮し、事務事業の全般を総括する重要な役割である。なぜ不在期間が1年にもなっているのか。

副町長の選任はいつ頃になるのか。

町長

副町長の選任は、その

職務の重要性に鑑み、適任者について十分検討してきたところであり、今定例会で副町長の人事案件を追加提案したい。

問 職員の定数計画は、複雑かつ多様化している行政運営に対応するため、新たな定員管理計画を策定するとしている。年度末では定年退職等で多くのベテラン職員が退職するようである。新年度以降、どのような人員、体制で行政運営にあたるのか問う。

新たな行政需要への対応と地域の実情に応じた効率的で質の高い行政を実現するため、新たな定員管理計画の策定を進めており、本計画は将来的な職員数を明記する大変重要なもので、その策定には十分な検証と検討の時間が必要である。

総務課長

新年度は、再任用制度の運用開始手続きを進めているほか、新採用職員6人の採用を予定し行政運営にあたる。



1年間不在だった副町長席

問 まち・ひと・しごと総合戦略の秘策はあるか

答 町民からのアイデアや提案も募集する

荒海清隆 議員

問 まち・ひと・しごと総合戦略の策定方法と公表する時期はいつ頃か。また、町独自のアイデア、秘策はあるか。策定は町民・議会・行政の三者が英知を出し合って策定すべきではないか。

企画情報課長 役場庁内に、まち・ひと・しごと創生総合戦略

策定部会を設置するほか、町民のみなさんのご意見をお聞きするため、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定町民会議を設置し策定作業を進め、平成27年度中に公表する。

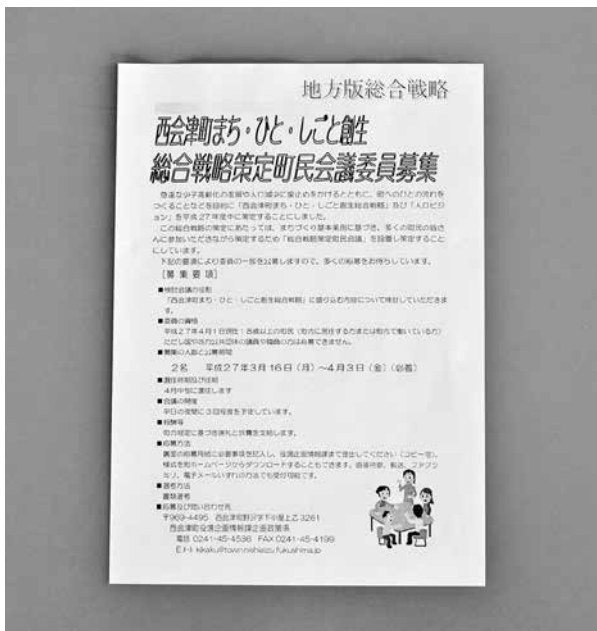
秘策は町民のみなさんからのアイデアや提案も募集し策定していきたい。なお、策定作業の節目に説明しご意見をいただきながら進めていく。

問 保育施設の基本設計業務の委託先を選定したとのことだが、内容の公表はいつか。

施設に木材を使うことで、子どもの心身の発達によい効果があると聞くと、地元産材を利用する考えは。

健康福祉課長 基本設計業務の委託候補者は公募型プロポーザルを実施し、有会社社辺見美津男設計室を選定し、3月4日に町ホームページに公表した。

新施設は、新たな保育施設整備の基本指針を基本に、木材をふんだんに使用した建物とし、地元産材の利用は建築の際に十分配慮していく。



戦略策定には町民参加が望まれる

問 流雪溝の不備箇所解消の検討結果は

答 適正な維持管理に努めていく

問 野沢町内の水路は、農業用水及び防火用水、また冬季間は流雪溝として利用される重要な水路であるが、雪詰まりや凍結により床下浸水などの被害が多発している。以前に水路の不備を確認し早急に対応したいとの答弁をいただいたが、その検討結果はどうであったのか。

建設水道課長 今年度も蓋破損箇所の修繕や鋼製蓋への交換、雪の流れをよくするため内面塗装工事などを実施した。雪詰まりは、基本的なルールを守ることによって大部分が解決できると考えられるので、野沢町内克雪活動実行委員会と連絡を密にし、適正な維持管理に努めていく。

問 旧尾野本小講堂は、クラシック音楽の愛好者の方々からも講堂で演奏



流雪溝の不備箇所の改善を

をぜひやってみたいとの要望が多くある。以前、講堂の利活用は専門家に検討させるとの答弁であったが、その後の検討結果はどうであったのか。

企画情報課長 旧尾野本小講堂の建築物としての価値や建物の安全性、維持管理経費などを専門家に調査を依頼し、その調査結果を踏まえて解体か保存かの判断をする。調査は27年度に実施していきたい。

なお、本施設は当分の間は活用が可能であり、今後も音楽コンサート等のイベント会場として大いに活用いただきたい。

問 街路灯・防犯灯LED化の整備費は

答 町内全域の整備総額は約2930万円

小柴 敬 議員

問 野沢町内街路灯LED化により、かなりの電気料金軽減が図られたが、全町内LED化の予算化の試算はいかほどか。

企画情報課長

町内には街路灯が39灯、

防犯灯が955灯であり、その全てをLED化する

整備費総額は、約2930万円であり、町の負担

問 木質バイオマスの町内利活用調査結果を問う。

① バイオマス施設整備費はいかほどか。また、実施の可能性は。

② 西会津小をはじめとする町内公共施設で使用する木質ボイラーの燃料は、供給体制が十分図られているか。

企画情報課長

① 公共施設での需要が望まれるペレット生産を主体とした施設整備費は、約4億円である。いかに安価に原料調達できるかが課題である。

② 乾燥チップは会津坂下町の、ペレットは阿賀町の業者から供給を受けていく計画である。

問 子ども・子育て新制度での保育施設入所について、次の3点を問う。

① 障がい児が入所できる特例内容は。

② 保護者が育児休業中の場合の特例内容は。

③ 同居祖父母及び親族がいる場合の特例内容は。

問 新制度での保育施設の入所は

答 家庭等の状況で判断する

鈴木満子 議員

は、保育を必要とし通所や集団保育が可能なことであるが、重度障がいがあり医療的な対応が必要な場合は、保護者と相談し専門的な施設を利用していただくこともある。

② 基本的に保育の必要がないと判断されるが、既に入所している児童の年齢や保育環境、母親の健康状態等により継続入所が適当と判断した場合

は受け入れをしている。

③ 基本的には父母の状況で判断するが、2歳以上の児童は全員受け入れ

している。

問 介護保険制度の改正により介護報酬が2・7パーセント削減されたことにより、施設の職員不足が生じ受け入れができなくなってきた。本町では影響はないか。

健康福祉課長

町内1施設でサービス提供体制が整わないことから、現時点で入所者の受け入れを見合わせている。

町としては、介護職員初任者研修を引き続き実施し、介護人材の養成に努めていく。



平成27年度野沢保育所入所式

問

地元産材の利用の取り組みは

答

保育施設の建設にも使用を検討したい

青 木 照 夫 議員

問 わが町の広大な面積の87パーセントは森林であり、その活用が重要である。西会津小学校と新役場庁舎の暖房に、木質バイオマスボイラーを使用すると聞くが、地元産材が利用可能であれば、地産地消と環境保全のメリットがある。

また、新たな保育施設

建築にも木材が多用されると思うが、地元産材の利用について町の取り組みを問う。

企画情報課長

西会津小学校や新役場庁舎で使用するバイオマス燃料は、現在町が進めている木質エネルギー地産地消計画によるところである。

新たな保育施設は、町

保育所施設整備等審議会から、木のぬくもりを重視した温かみのある施設を整備すべきとの答申が出されており、木造を主体とした建物で、地元産



小学校に導入されたバイオマスボイラー

材の使用も検討していきたい。

問 近年、わが町に若

者の交流がある。定住を実現するために、住宅の補助や定住できる支援策を推進する考えはないか。

商工観光課長

平成25年度から定住促進助成事業を実施し、補助金を交付している。新年度も事業を継続し、新たに空き家バンクに登録されている物件の購入や改修などの費用の一部助成をする。

問

ライスセンターの整備を望むが

答

具体的な検討を進める

問 本町の基幹産業は農業であるが、その中心な地域の野沢、尾野本にはライスセンターがない。今、国が進める地方創生の制度で整備はできないか。

農林振興課長

町内には4つのライスセンターがあるが、水稲生産面積の15パーセント程度の利用であり、施設の整備は重要な課題である。今後、規模の決定や運営方法、財源の確保など検討課題もあることから、現状を見極めながら、具体的な検討を進めていく。なお、地方創生制度でのライスセンター整備は、原則として施設整備は対象外であり難しい。

問

4月より本番を迎えるふくしまデスティネーションキャンペーンに、本町はどのように取り組むのか。

商工観光課長

ふくしまデスティネーションキャンペーンは、県、市町村、観光関係団体、JＲグループ6社が連携し、4月から6月までの3カ月間、県内全域への誘客を進めるキャンペーンである。



野沢・尾野本にもライスセンターを
(奥川ライスセンター)

清 野 佐 一

議員

本町では、西会津観光交流協会をはじめ、各種団体と連携し、各種イベントに積極的に参加し、町の観光資源のPRに努める。また、県主催の宝探しイベント「コードF5」を実施する。

問 企業誘致の新年度の取り組みは

答 戦略プランを策定し具体的にに取り組む

問 本町における少子化や若者の減少は、大変深刻な問題である。こうした状況を打開するには、町内企業の一層の充実、発展と新たな企業誘致により、若者の定住を促進すれば、人口減少に歯止めがかかると考える。新年度の町の取り組みは。

町長

雇用確保に向けた新たな支援策は、町のホームページに町内企業を紹介するコーナーを設け、雇用の促進や企業PRなどに努める。企業誘致は戦略プランを策定し、それを基に具体的に取り組む。

問 中学校では、生徒数の減少や部活動の部員減少などを理由に、野球部と女子ソフトボール部を数年後廃止することを決定したが、この決定の前に学校、教育委員会では部活動を存続するため

伊藤 一男 議員



町のスポーツ振興のためにも部活動の存続を

の最大限の努力をされたのか。

教育長

部活動の存続は、小学生の入部希望を調査し、PTA総会で募集停止することを説明した。今回の中学校の措置は、3年

間の部活動を練習だけで過ごすことを避けるためであるが、今後は他校と連合した試合方法なども検討し、できるだけ部活動が継続できるように中学校を指導していく。

12回目
第12回臨時会

大雪に見舞われ豪雪対策本部設置

除雪経費などを追加計上

第1回議会臨時会

2月2日に第1回議会臨時会を開会し、燃料費や委託料など道路除雪にかかる経費として7150万円を増額する一般会計補正予算（第10次）を審議し、全員賛成で原案のとおり可決しました。

【質疑】

多賀副議員

豪雪対策本部の設置基準は、積雪量が150センチメートルであるが、現時点での基準点の積雪量は。今冬の除雪は、この補正額で足りるのか。

建設水道課長

2月1日現在の積雪深は、103センチメートルとなっている。除雪委託料は、過去5年間の平均で積算し、何とか賄えると考えている。

荒海清隆議員

地区により積雪はバラ

第2回議会臨時会

ツキがある。奥川にも基準点を設け、平均値で対策本部を設置する考えは。町民税務課長

積雪量が150センチメートルに達しなくても、生活に支障がある場合は豪雪対策本部を設置する。

【質疑】

波部憲議員

地域連携販売力強化施設のテナント出店の申し込みは。

商工観光課長

町内の出店希望者を対象に説明会を開催し、10組に参加いただいた。

猪俣常三議員

灯油購入の助成は。

健康福祉課長

灯油購入の助成は、急激な値上がりなどにより実施するもので、今回は実施をしない。



今年も除雪に大忙し

インタビューコーナー

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は、子どもの通学路の安全確保や地域の交通安全のために活躍されている交通安全協会野沢分会長の齋藤良一さん（6町内）です。

――分会長として苦勞されていることは。

普段はそんなに苦勞は感じませんが、強いて言えば、町民の皆様から道路の白線が見えにくいと言われたとしても、分会では町当局にお願いするだけで、団体としての活動に限界を感じたときですかね。

――小学生の通学路変更について、どのように考えていますか。

冬の通学路は非常に危



街頭啓発お疲れさまです 齋藤良一さん

プロフィール

住 所：6町内（野沢）
年 齢：55歳
家族構成：妻、子、母
趣 味：友人との懇談会

ないと思いますので、歩道の無いところや信号機の無い交差点などを分会としてよく見ながら、町当局や交通安全協会西会津支部に相談していきたいと思います。

――今後の活動目標を教えてください。

町民の皆様のご協力を得ながら、町から交通安全が1件でも無くなるように、分会では街頭啓発など予防活動に力を入れていきたいと思っています。また、交通安全会役員の

――ご協力ありがとうございます。今後地域交通安全、交通事故ゼロの町のため、ご活躍を期待しています。

議会の動き

全国町村議会議長会より3人の議員が表彰

2月6日に開催された第66回全国町村議会議長会定期総会において、長谷沼清吉議員が議会議員として27年以上在職した功勞により、清野佐一議員と五十嵐忠比古議員の2人が議会議員として15年以上在職した功勞により、全国町村議会議長会から自治功勞表彰を受賞されました。

写真右から
五十嵐忠比古議員
長谷沼清吉議員
清野 佐一議員



議会事務局長に

渡部峰明さん

4月1日付けの人事異動により、新しく議会事務局長に渡部峰明さんをお迎えしました。

議会事務局長

渡部峰明さん

（前任）診療所事務長



渡部峰明さん

前議会事務局長の高橋謙一さんは、3月31日をもって町役場を退職されました。



高橋謙一さん

編集委員

委員長

副委員長

委員

〃

渡部 憲

三留正義

伊藤一男

長谷川義雄

清野佐一

にしあいづ議会だより

No. 129

発行 福島県西会津町議会
編集 議会広報特別委員会

〒969-4495 福島県耶麻郡西会津町野沢
字下小屋上乙3261
e-mail gikai@town.nishiazumi.fukushima.jp
0241(45)4537